

2026年3月期 第3四半期決算 参考資料

(修正) 2026年2月12日18時00分

- ・15頁「【参考】地域別売上収益推移(為替影響を除く)」の表のうち、
「【参考】為替換算影響を除いた前同比成長率」列の数値を修正しております。

三浦工業株式会社

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

ハイライト

1. 売上収益

- 第3四半期累計として、過去最高を達成し、増収（前同比7.3%増）
 - 国内事業においては、ボイラ、舶用機器が堅調に推移
またメンテナンス事業についても引き続き堅調に推移
 - 海外事業においては、買収効果もありボイラ販売、メンテナンスともに伸長

2. 利益

- 第3四半期累計は全体としては増益（前同比24.9%増）
 - 昨年のM&A関連費用の影響がなくなり全社的に増益

1. 2026年3月期 第3四半期業績

概要

第3四半期は売上収益については過去最高を達成。

<IFRS>	単位	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前同比	前同比増減率	【参考】 為替影響を除く 増減率
売上収益	億円	1,752	1,880	+128	+7.3%	+8.7%
営業利益	億円	173	217	+43	+24.9%	+27.1%
営業利益率	%	9.9	11.6	+1.7	—	—
税引前利益	億円	204	269	+64	+31.6%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	億円	139	201	+61	+44.2%	—
1株当たり当期利益	円	124	174	+49	+39.7%	—

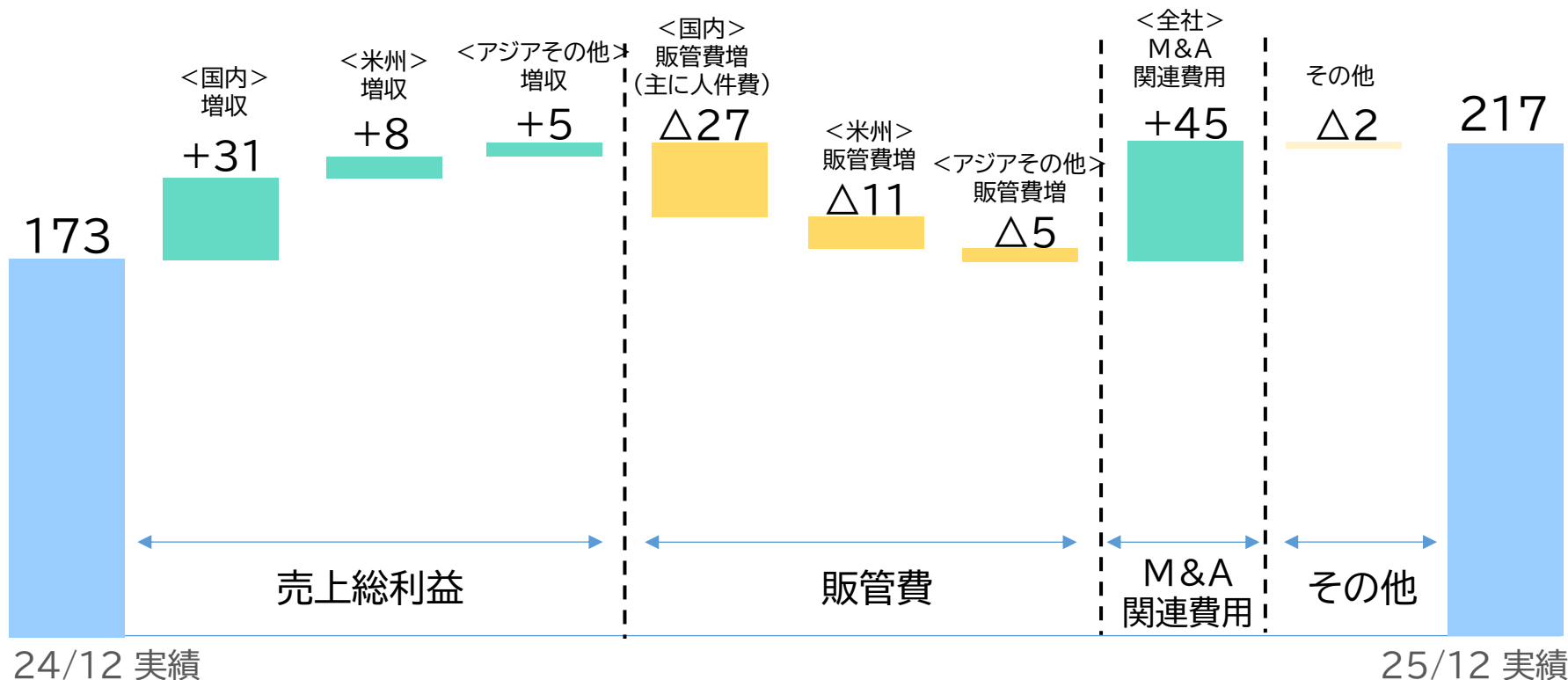
為替換算影響額

売上収益	△24.0
営業利益	△3.8

(注)2025年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

営業利益増減要因(前同比)

(単位:億円)



- ・日本国内事業は、人件費等の増加があったが、増収効果により増益
- ・米州事業は、原材料価格の上昇、販売構成の変化や人件費の増加もあり減益
- ・アジアその他事業は、増収だったものの、人件費の増加があった

セグメント別（新セグメント）（24/12…2025年3月期3Q累計、25/12…2026年3月期3Q累計）

単位:億円

	売上収益			セグメント利益 (セグメント利益率)			為替差損益の影響額		
	24/12	25/12	前同比	24/12	25/12	前同比	24/12	25/12	前同比
日本国内	900	952	+51	146 (16.3%)	150 (15.8%)	+3 (△0.5%)	△0.2	1.1	+1.3
米州	607	668	+60	83 (13.8%)	78 (11.7%)	△5 (△2.1%)	2.3	△1.5	△3.9
アジア その他	244	260	+15	25 (10.3%)	23 (8.9%)	△2 (△1.4%)	1.7	△0.9	△2.7
調整額	—	—	—	△2 (—)	0 (—)	+2 (—)	—	—	—
合計	1,752	1,880	+128	252 (14.4%)	251 (13.3%)	△1 (△1.1%)	3.8	△1.3	△5.2

(注) セグメント利益の「調整額」には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

概要

- ・国内事業は、ボイラ、舶用機器が堅調に推移。
メンテナンス事業についても有償保守契約件数の増加や省エネ活動により売上増加
- ・米州事業は、Cleaver-Brooks社の業績反映期間(前年度7.5カ月)により売上増加
- ・アジアその他事業はCERTUSS社の業績反映期間(前年度8カ月)の影響とボイラ販売が堅調に推移したことにより売上増加

セグメント別（【参考】旧セグメント）(24/12…2025年3月期3Q累計、25/12…2026年3月期3Q累計)

単位:億円

	売上収益			セグメント利益			セグメント利益率		
	24/12	25/12	前同比	24/12	25/12	前同比	24/12	25/12	前同比
国内機器販売	571	596	+25	47	51	+3	8.3%	8.6%	+0.3%
国内メンテナンス	327	354	+26	97	97	0	29.7%	27.5%	△2.2%
海外機器販売	200	209	+8	12	12	0	6.1%	6.1%	0%
海外メンテナンス	92	100	+7	11	15	+3	12.3%	15.4%	+3.1%
C-B・CERTUSS	559	619	+60	85	75	△10	15.3%	12.2%	△3.1%
その他	0	0	0	0	0	0	—	—	—
調整額	—	—	—	△2	△1	0	—	—	—
合計	1,752	1,880	+128	252	251	△1	14.4%	13.4%	△1.0%

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループが行っている保険代理業等の報告セグメントに含まれない事業セグメントです。
2. セグメント利益の「調整額」には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

国内事業別の売上収益

単位:億円

	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	増減率
ボイラ	522	554	+6.1%
アクア(水処理機器)	70	80	+14.3%
舶用	102	114	+11.8%
食機・メディカル	116	108	△6.9%
その他 (ランドリー・特機・新事業・環境等)	89	96	+7.9%
合計	900	952	+5.8%

国内事業別の概況

ボイラ事業

事業環境

ボイラ台数は産業規模の縮小に合わせて緩やかに減少しているが、蒸発量ベースでは横ばいとなっている。カーボンニュートラル対応への期待は高まっている。

3Qの実績

引続き、高圧大容量の蒸気ボイラ販売も増加し、工事売上等も増加した。

今後の取組み

補助金事業の活用、シェアの低い業界への展開、高効率ボイラへの更新提案など、引き続き進めていく。カーボンニュートラルに向けて、水素ボイラや電気ボイラなど全方位での開発を進めていく。

アクア(水処理機器)事業

事業環境

水処理業界では、主要各社がそれぞれの強みを生かした重点分野への戦略分化を進めており、当社は産業用途全般にわたる総合的な水処理ソリューションの提供を強化し、多様な業種で純水・排水処理案件を獲得。

3Qの実績

EPC契約を伴う大型プラント案件の売上増加、エンジニアリング・工事の売上も増加。純水装置等の機器販売も増加。

*EPC:「Engineering(設計)、Procurement(調達)、Construction(建設)」を一括して請負う方式

今後の取組み

水のトータルソリューション提案を進める。新たにグループに加わったミウラ環境エンジニアリングと連携した排水分野の強化を進める。省人化などの複合提案も行う。

舶用事業

事業環境

国内外ともに2029年までの新造船契約が進んでおり、2030年分の船台契約も進む見込みである。環境対応においてはメタノール燃料からLNGへ回帰している。

3Qの実績

特に中国向けの舶用ボイラ等の売上が大きく増加した。

今後の取組み

中国向けの販売拡大に向けた活動を継続。グループ会社製品、通信用i-MITEC、環境対応製品などの提案数を増やす。

食機・メディカル事業

事業環境

人財不足等を背景に、自動化や省力化の高付加価値ソリューション提案が求められる。

3Qの実績

食品機械は、前年に大型案件があったことで、前同比売上減少。メディカル機器については、前同比同程度の売上。

今後の取組み

食品機械は自動化を含めたトータルソリューション提案を進める。メディカル機器は、機器とDXを合わせた提案を進める。また、洗浄器について、品質や効率面でニーズにあう産業分野に対しても提案していく。

その他事業

(ランドリー・特機・新事業開発・環境等)

3Qの実績

【特機】加熱蒸気発生装置(発電事業者向け)や廃熱ボイラ(下水処理場向け)の販売があった。

今後の取組み

【その他】省エネに向けた提案を推進。

海外地域別の売上収益

単位:億円

		2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	増減率
	米州	79	85	+7.6%
	C-B	528	580	+9.8%
	韓国	85	77	△9.4%
	中国	74	78	+5.4%
	その他アジア	55	60	+9.0%
	欧州	31	49	+58.0%
	海外合計	852	929	+9.0%

海外地域別の概況

米州事業(C-B社除く)

事業環境

各国で状況は異なるが、昨年の米国大統領選挙やその後の関税政策の影響を懸念した景気不透明感から設備投資は様子見。

3Qの実績

米国法人は、値上げ効果や附帯品売上増、顧客増に伴うメンテ保守売上増により増収増益。ブラジル法人は、機種構成による販売単価アップや顧客増によるメンテ売上増により増収増益。

今後の取組み

各国各法人においてメンテ契約率、通信率、薬品取引率の向上と水処理管理品質向上を事業基盤強化として取り組む。

C-B社

事業環境

各国で状況は異なるが、昨年の米国大統領選挙やその後の関税政策の影響を懸念した景気不透明感から設備投資は様子見。C-B社事業もコスト面でトランプ関税の影響を受けている。

3Qの実績

業績管理期間が伸びたことにより売上は増加しているが、昨年度の受注減少の影響もあり、計画比では進捗が弱い。

今後の取組み

現状の成長取組みを維持するとともに、中長期視点でのシナジー創出に取り組んでいく。

韓国	<p>事業環境 景気の後退感はあるものの、財閥や国家先端産業(半導体・バイオ・二次電池)向けで引き続きの需要が見込まれる。</p> <p>3Qの実績 販売台数増となったものの、大型ボイラの販売が減少したことで前同比で減収減益。メンテについては、入替台数増や薬品。保守契約が順調に推移したことで、現地通貨ベースで増収増益となった。</p> <p>今後の取組み 財閥向け、国家先端産業向けの先行営業を進める。トータルソリューション提案も展開。</p>
中国	<p>事業環境 景気後退により需要は減少している。また、工場稼働率低下により蒸気使用量も減少している。環境対応は現状維持だが、LNGからバイオマスへの変更が増加している。</p> <p>3Qの実績 販売台数は増加しているが、その他機器売上や蒸気使用量減を背景とする薬品売上の減少、粗利率の低下で増収減益となった。</p> <p>今後の取組み 省エネ提案を進めるとともに、リースなど新しい販売スタイルで拡販していく。現地需要に応えるボイラ開発を進めていく。</p>

アジア	事業環境	政局等の外部要因に左右される部分はあるが、各国の産業成長に伴い需要の増加が見込まれる。
	3Qの実績	いずれの国もボイラ販売が堅調に推移、メンテナンスも順調に伸びている。
	今後の取組み	ユーザーに近い立場でのビジネスを継続するとともに、中長期を見据えた投資を継続する。
欧州	事業環境	ドイツ経済は足元での低迷により、ボイラ市場も減速。トルコ経済はインフレにより、先行き不透明。
	3Qの実績	CERTUSS社については業績管理期間が伸びたことにより売上は増加している。輸出案件は増加している。トルコはボイラ販売台数が増加し、メンテ売上についても好調。
	今後の取組み	CERTUSS社について、国内外に向けてボイラ販売を推進していく。トルコでは、販売地域を拡大してボイラ販売を推進していく。

【参考】地域別売上収益推移(為替影響を除く)

単位:億円

	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前同比成長率	【参考】 為替換算影響を除いた 前同比成長率
日本	900	952	+5.8%	+5.8%
米州	79	85	+7.6%	+11.8%
C-B	528	580	+9.8%	+12.8%
韓国	85	77	△9.4%	△4.9%
中国	74	78	+5.4%	+8.3%
その他 アジア	55	60	+9.1%	+25.0%
欧州	31	49	+58.1%	+32.4%
海外合計	852	929	+9.0%	+12.1%
合計	1,752	1,881	+7.4%	+8.9%

- (注) 1. 為替換算影響を除いた前同比成長率の算出には、当期の為替レートを用いています。
 2. C-Bおよび欧州は、Cleaver-Brooks社およびCERTUSS社の業績反映期間の影響を含みます。

Cleaver-Brooks社のトピックス

四半期単独

2025年3月期	1Q(注2)	2Q	3Q	4Q
売上収益	75	139	139	146
営業利益	9	23	19	24
営業利益率	+12.0%	+16.5%	+13.6%	+16.5%
2026年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	123	142	136	—
営業利益	14	21	18	—
営業利益率	+11.3%	+14.5%	+12.9%	—

年度累計

単位: \$ M

2025年3月期	1Q(注2)	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上収益	75	215	354	500
営業利益	9	32	51	75
営業利益率	+12.0%	+14.9%	+14.4%	+15.0%
2026年3月期	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上収益	123	265	401	—
営業利益	14	35	52	—
営業利益率	+11.3%	+13.0%	+13.0%	—

概要

- ・FY25を特異ポイントとして懸念材料として直販相当のCBSSが数字的に悪化
⇒大型案件と基本行動のバランスの見直し
- ・中規模の設備投資の開始や教育体制の見直し
- ・EBITDAは仕組みとしてある程度安定している状況

(注) 1. 売上高はIFRSでの売上と販売手数料の調整処理をしておりません。

2. 2025年3月期1Qには、当グループでの業績反映期間のみ含んでおります。

2. 2026年3月期 通期見通しの修正

通期見通し変更のポイント

- 増収増益を確保したが、国内外の事業環境を精査した結果、
売上収益と営業利益を見直す
- 当期利益は当初計画を据え置く

通期見通し

	単位	当初計画 (2025年5月14日発表)	修正計画	前回発表比
売上収益	億円	2,715	2,665	△50
営業利益	億円	326	306	△20
営業利益率	%	12.0	11.5	△0.5
税引前利益	億円	369	369	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	億円	265	265	—
1株当たり当期利益	円	234	234	—

	売上収益			営業利益		
	2026年3月期 当初計画 (2025年5月14日発表)	2026年3月期 修正計画	増減	2026年3月期 当初計画 (2025年5月14日発表)	2026年3月期 修正計画	増減
日本国内事業	1,345	1,370	25	203	203	—
米州事業	990	910	△80	124	111	△13
アジアその他事業	380	385	5	43	36	△7
M&A費用・ 無形資産償却	—	—	—	44	44	—
合計	2,715	2,665	△50	326	306	△20

事業別売上

(単位:億円)

	事業・地域	2025年3月期 実績	2026年3月期 当初計画 (2025年5月14日発表)	2026年3月期 修正計画	修正計画 増減
国内	ボイラ	750	770	785	15
	アクア(水処理機器)	109	125	125	0
	舶用	132	145	155	10
	食機・メディカル	166	170	165	△5
	その他 (ランドリー・特機・ 新事業開発・環境等)	132	135	140	5
	国内合計	1,289	1,345	1,370	25
海外	米州	115	140	130	△10
	C-B	743	850	780	△70
	韓国	119	130	120	△10
	中国	113	110	115	5
	その他アジア	84	80	85	5
	欧州	50	60	65	5
	海外合計	1,224	1,370	1,295	△75
合計		2,513	2,715	2,665	△50

通期見通し変更理由

地域	変更理由		対応
	売上収益	営業利益	
国内	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 船用事業売上好調 ▶ トータルソリューションの推進の成果 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上収益は増加するが、商品構成変化により、営業利益は現状維持 	-
米州	<ul style="list-style-type: none"> ▶ C-B社の販売代理店(CBSS)の業績回復に時間を要す ▶ ミウラアメリカでの営業部門の補強の遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上収益減少に伴う減益 ▶ 関税などによるコスト影響 ▶ 為替による影響 	<p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 顧客との関係強化 ▶ 管理データ整備による行動効率化 <p>(C-B社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ C-Bボイラユーザーの把握 ▶ 継続取引関係の構築に注力 <p>(ミウラアメリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直販エリアでの営業組織を見直し、行動管理を徹底。保有物件数確保
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国、韓国を除くアジア各国でボイラ販売が堅調 ▶ 中国は景気後退続くが、積極的な営業活動でカバー ▶ 韓国での大型ボイラの販売見込台数は減少(次年度への延期もあり) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国での利益率低下 ▶ CERTUSSでの経費増加 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 韓国でのトータルソリューション推進 ▶ 省エネなど付加価値提案の強化

3. Appendix

- 1.セグメント別売上収益推移（新セグメント）
- 2.セグメント別利益推移（新セグメント）
- 3.セグメント別売上収益推移（【参考】旧セグメント）
- 4.セグメント別利益推移（【参考】旧セグメント）
- 5.(国内)事業別売上収益推移
- 6.地域別売上収益推移
- 7.為替レート推移

1.セグメント別売上収益推移（新セグメント）

単位:億円

	2022年 3月期 3Q累計	構成比	2023年 3月期 3Q累計	構成比	2024年 3月期 3Q累計	構成比	2025年 3月期 3Q累計	構成比	2026年 3月期 3Q累計	構成比
日本国内	790	79%	817	77%	812	75%	900	51%	952	51%
米州	45	5%	70	7%	76	7%	607	35%	668	35%
アジアその他	162	16%	169	16%	191	18%	244	14%	260	14%
合計	998	100%	1,057	100%	1,079	100%	1,752	100%	1,880	100%

2.セグメント別利益推移（新セグメント）

単位:億円

	2022年 3月期 3Q累計	構成比	2023年 3月期 3Q累計	構成比	2024年 3月期 3Q累計	構成比	2025年 3月期 3Q累計	構成比	2026年 3月期 3Q累計	構成比
日本国内 (セグメント利益率)	125 (15.8%)	84%	128 (15.7%)	83%	135 (16.6%)	84%	146 (16.3%)	57%	150 (15.8%)	60%
米州 (セグメント利益率)	0 (0.9%)	0%	2 (3.1%)	1%	3 (4.3%)	2%	83 (13.8%)	33%	78 (11.7%)	31%
アジアその他 (セグメント利益率)	22 (14.0%)	16%	24 (14.6%)	16%	21 (11.5%)	14%	25 (10.3%)	10%	23 (8.9%)	9%
計 (セグメント利益率)	148 (14.9%)	100%	154 (14.7%)	100%	160 (14.9%)	100%	255 (14.6%)	100%	251 (13.4%)	100%
調整額	△1	—	0	—	△1	—	△2	—	0	—
合計 (セグメント利益率)	147 (14.8%)	—	154 (14.6%)	—	158 (14.7%)	—	252 (14.4%)	—	251 (13.3%)	—

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

3.セグメント別売上収益推移（【参考】旧セグメント）

単位:億円

	2022年 3月期 3Q累計	構成比	2023年 3月期 3Q累計	構成比	2024年 3月期 3Q累計	構成比	2025年 3月期 3Q累計	構成比	2026年 3月期 3Q累計	構成比
国内機器販売	427	43%	535	50%	507	47%	571	33%	596	32%
国内メンテナンス	271	27%	281	27%	304	28%	327	19%	354	19%
海外機器販売	151	15%	169	16%	185	17%	200	11%	209	11%
海外メンテナンス	56	6%	70	7%	82	8%	92	5%	100	5%
ランドリー	91	9%	—	—	—	—	—	—	—	—
C-B・CERTUSS	—	—	—	—	—	—	559	32%	619	33%
合計	998	100%	1,057	100%	1,079	100%	1,752	100%	1,880	100%

(注) セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
それに伴い、2024年3月期第1四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。

4.セグメント別利益推移(【参考】旧セグメント)

単位:億円

	2022年 3月期 3Q累計	構成比	2023年 3月期 3Q累計	構成比	2024年 3月期 3Q累計	構成比	2025年 3月期 3Q累計	構成比	2026年 3月期 3Q累計	構成比
国内機器販売 (セグメント利益率)	40 (8.9%)	28%	41 (7.7%)	28%	46 (9.2%)	29%	47 (8.3%)	19%	51 (8.6%)	20%
国内メンテナンス (セグメント利益率)	76 (28.0%)	54%	80 (28.7%)	54%	87 (28.6%)	55%	97 (29.7%)	38%	97 (27.5%)	39%
海外機器販売 (セグメント利益率)	13 (8.8%)	10%	17 (10.2%)	11%	13 (7.4%)	8%	12 (6.1%)	5%	12 (6.1%)	5%
海外メンテナンス (セグメント利益率)	10 (17.9%)	7%	11 (16.5%)	7%	12 (14.8%)	8%	11 (12.3%)	4%	15 (15.4%)	6%
ランドリー (セグメント利益率)	1 (2.1%)	1%	— (—)	—	— (—)	—	— (—)	—	— (—)	—
C-B・CERTUSS (セグメント利益率)	— (—)	—	— (—)	—	— (—)	—	85 (15.3%)	34%	75 (12.2%)	30%
合計 (セグメント利益率)	141 (14.2%)	100%	149 (14.1%)	100%	159 (14.8%)	100%	254 (14.5%)	100%	252 (13.4%)	100%

(注) 1. セグメント区分の見直しにより、2024年3月期第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
 2. 2024年3月期3Q累計以降について、営業利益にかわりセグメント利益での表示に変更しております。
 なお、この変更に関連する当頁の合計欄は、「その他」の区分と調整額を含まない、セグメント利益の計です。

5.(国内)事業別売上収益推移

単位:億円

	2022年 3月期 3Q累計	構成比	2023年 3月期 3Q累計	構成比	2024年 3月期 3Q累計	構成比	2025年 3月期 3Q累計	構成比	2026年 3月期 3Q累計	構成比
ボイラ	447	56%	455	56%	506	62%	522	58%	554	58%
アクア (水処理機器)	53	7%	54	7%	57	7%	70	8%	80	9%
船用	68	9%	75	9%	75	9%	102	11%	114	12%
食機・ メディカル	83	11%	84	10%	88	11%	116	13%	108	11%
ランドリー	91	12%	—	—	—	—	—	—	—	—
その他 (ランドリー・特機・ 新事業・環境等)	48	5%	149	18%	86	11%	89	10%	96	10%
合計	790	100%	817	100%	812	100%	900	100%	952	100%

(注) セグメント区分の見直しにより、連結財務諸表を遡及修正しております。

6.地域別売上収益推移

単位:億円

	2022年 3月期 3Q累計	構成比	2023年 3月期 3Q累計	構成比	2024年 3月期 3Q累計	構成比	2025年 3月期 3Q累計	構成比	2026年 3月期 3Q累計	構成比
日本	790	80%	817	77%	812	75%	900	51%	952	51%
米州	45	3%	71	7%	76	7%	79	5%	85	4%
C-B	—	—	—	—	—	—	528	30%	580	31%
韓国	54	6%	54	5%	67	6%	85	5%	77	4%
中国	73	8%	71	7%	78	7%	74	4%	78	4%
その他アジア	36	3%	44	4%	46	5%	55	3%	60	3%
欧州	—	—	—	—	—	—	31	2%	49	3%
海外合計	208	20%	240	23%	267	25%	852	49%	929	49%
合計	998	100%	1,057	100%	1,079	100%	1,752	100%	1,881	100%

7.為替レート推移

平均レート

通貨	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前同増減率	2026年3月期 計画
USD	111.14	136.49	143.33	152.64	148.71	△2.6%	149.00
CAD	88.95	103.93	106.29	110.86	107.34	△3.2%	104.00
ユーロ	—	—	—	164.89	171.83	+4.2%	162.00
元	17.26	19.88	19.98	21.16	20.77	△1.8%	20.50
NTD	3.99	4.50	4.57	4.72	4.87	+3.2%	4.50
WON(100W)	9.64	10.35	10.90	11.11	10.55	△5.0%	10.90
ルピア(100Rp)	0.78	0.91	0.94	0.96	0.90	△6.3%	0.91
ブラジルリアル	20.62	26.53	29.11	27.65	27.07	△2.1%	26.00
メキシコペソ	5.48	6.84	8.23	8.19	7.92	△3.3%	7.30
タイバーツ	3.42	3.82	4.09	4.34	4.57	+5.3%	4.40

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

お問い合わせ先

三浦工業株式会社 そうごう 創合企画部

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <https://www.miuraz.co.jp/>